

作品名	作者	員数	材質技法	和暦	西暦	所 蔵
74 東遊奇勝	渋江長伯	十四冊のうち三冊	紙本墨画(一部彩色)	—	—	函館市中央図書館
75 名山図会	谷 文晁	三冊	版本(単色摺)	文化九年	1812	国立国会図書館
76 蝦夷山水・器物図巻	谷 文晁	五巻のうち三巻	紙本著色	—	—	北海道立近代美術館
77 東蝦夷紀行(蝦夷奇勝画稿)	島田元旦	三巻	紙本著色(一部墨画)	—	—	
78 蝦夷風俗図式・蝦夷器具図式	島田元旦	二冊	紙本彩色	—	—	
79 蝦夷風俗図式并積名・蝦夷器具図式	島田元旦	二冊	紙本彩色	—	—	東京都立中央図書館
<b>《特集》風景を写す</b>						
80 西遊画紀行帖	谷 文晁	一帖	紙本著色	—	—	板橋区立美術館
81 相州名勝図帖	谷 文晁	一帖	紙本著色	寛政九年	1797	東京国立博物館
82 公余探勝図巻 《重要文化財》	谷 文晁	二巻のうち上巻	紙本著色	寛政五年	1793	東京国立博物館
83 富士図額	島田元旦	一面	絹本著色	—	—	
84 富士之図	島田元旦	一幅	紙本著色	—	—	
85 東海道中図屏風	島田元旦	六曲一双	紙本著色	—	—	
86 諸国名所図	島田元旦	八面	紙本著色	—	—	栃木県立博物館
<b>プロローグ - 谷家に生まれて -</b>						
87 漢詩色紙	谷 麓谷	一枚	紙本墨書	寛政十年	1798	東京・濟松寺
88 墨竹図色紙	島田元旦	一枚	紙本墨画	—	—	東京・濟松寺
89 四君伝	武元北林 編	一冊	版本(単色摺)	寛政十一年	1799	国立国会図書館
90 名花交叢	中田黎堂 著	一冊	版本(単色摺)	文化二年	1805	国立国会図書館
91 展観画録	円山応瑞 編	一冊	版本(単色摺)	文化四年	1807	西尾市岩瀬文庫
92 本朝名家画譜	丹羽桃溪 編	一冊	版本(単色摺)	文化十一年	1814	東京都立中央図書館
93 薄河蟬之図	谷 幹々	一幅	紙本墨画淡彩	—	—	栃木県立博物館
94 富士山図	谷 文一	一幅	絹本著色	文化元年	1804	板橋区立美術館
95 青緑山水図	谷 文二	一幅	絹本著色	—	—	
96 山水図	谷 舜英	一幅	紙本墨画	寛政七年	1795	栃木県立博物館
97 秋江独釣図	島田元旦	一幅	紙本墨画淡彩	寛政六年	1794	
98 富士三保清見寺図	島田元旦	一幅	絹本墨画	寛政七年	1795	
99 秋柯小禽図	島田元旦	一幅	紙本墨画淡彩	—	—	
100 花鳥図	島田元旦	一幅	紙本墨画淡彩	寛政八年	1796	
101 蝦蟇仙人図	島田元旦	一幅	絹本著色	—	—	
102 木賊に兎図	円山応挙	一幅	絹本著色	天明六年	1786	静岡県立美術館
<b>元旦 - 鳥取藩島田家へ -</b>						
103 東方朔八千歳福寿之図	島田元旦	一幅	絹本著色	文化二年	1805	鳥取県立博物館
104 旭日に鶴図	島田元旦	一幅	絹本著色	文化六年	1809	鳥取・松岸寺
105 蝦蟇仙人図	島田元旦	一幅	絹本著色	文化六年	1809	
106 群鹿之図	島田元旦	一幅	絹本著色	文化九年	1812	
107 山水人物花鳥虫獣図	島田元旦	十九枚	紙本著色	享和二年	1802	
108 山水図	谷文晁・北山寒巖・ 島田元旦	三幅	紙本墨画淡彩	—	—	
109 下絵類	島田元旦	一式	紙本著色	—	—	
<b>二つの幽霊図</b>						
110 幽霊図	島田元旦	一枚	紙本著色	—	—	
111 燭台と幽霊図	谷 文一	一幅	絹本墨画淡彩	文化七年	1810	東京・全生庵
112 雲龍図	島田元旦	一幅	絹本墨画	—	—	
113 玉兎図	島田元旦	一幅	絹本著色	—	—	鳥取・景福寺
114 松に孔雀図	島田元旦	一幅	絹本著色	—	—	
115 青緑山水図	谷 文晁	一幅	絹本著色	文政五年	1822	東京富士美術館
116 連山春色図	谷 文晁	一幅	絹本著色	寛政九年	1797	静岡県立美術館
117 真之山水図	島田元旦	一幅	紙本著色	文化七年	1810	
118 雪中山水図	島田元旦	一幅	絹本著色	—	—	
119 猛虎図	島田元旦	一幅	絹本著色	文化十一年	1814	
120 竹虎之図	島田元旦	一幅	絹本著色	—	—	
121 桜に双鶏図	島田元旦	一幅	絹本著色	文化十三年	1816	
122 群蝶図手焙	仁阿弥道八	一口	陶器	—	—	
	(文晁・元旦ほか画)					
123 色絵花卉薺柑子図手焙	仁阿弥道八	一口	陶器	—	—	京都・両足院
	(文晁・元旦ほか画)					
<b>元旦 - 家督相続、そして鳥取へ -</b>						
124 十哲図	谷 文晁・島田元旦・ 渡辺崋山ほか	一幅	絹本墨画	文政四年	1821	
125 群鹿群鶴図屏風	島田元旦	六曲一双	紙本著色	文政九年	1826	
126 秋海棠に蝗虫図	島田元旦	一幅	絹本著色	—	—	
127 花鳥図	島田元旦	二幅	絹本著色	—	—	

	作品名	作者	員数	材質技法	和暦	西暦	所 蔵
128	寿老人・春秋山水図	島田元旦	三幅	絹本著色	—	—	鳥取・景福寺
129	豊干・花鳥図	島田元旦	三幅	絹本著色	—	—	
130	春夜桃李園之図	島田元旦	一幅	絹本著色	文政七年	1824	
131	虎視眈々之図	島田元旦	一幅	絹本著色	—	—	
132	妓女図	島田元旦	一幅	絹本著色	—	—	
133	花鳥図	島田元旦	二幅	絹本著色	—	—	
134	鶏図	島田元旦	一幅	絹本著色	—	—	
135	鯉之図	島田元旦	一幅	絹本著色	—	—	
136	蝶之図	島田元旦	一幅	絹本金地著色	—	—	
137	黄初平図	島田元旦	一幅	絹本油彩	—	—	神戸市立博物館
138	寒山拾得図	島田元旦	一幅	紙本墨画淡彩	—	—	鳥取・景福寺
139	福祿寿・松竹鶴図	島田元旦	三幅	絹本著色	天保三年	1832	
140	青緑山水図	島田元旦	一幅	絹本著色	天保二年	1831	鳥取県立博物館
141	花鳥図押絵貼屏風	島田元旦	六曲一双	絹本著色	天保二年	1831	
142	花卉図額	島田元旦	一面	絹本著色	天保三年	1832	
143	不動明王図	島田元旦	一幅	絹本著色	天保八年	1837	
144	俳仙図	島田元旦	一幅	紙本墨画淡彩	天保九年	1838	
◆一階美術常設展示室							
145	牡丹図	片山楊谷	一幅	絹本著色	—	—	
146	松に鶴図	片山楊谷	一幅	絹本著色	—	—	
147	竹に虎図	片山楊谷	一幅	絹本著色	—	—	
148	菊慈童図	片山楊谷	一幅	絹本著色	—	—	
149	孔子十哲図	片山楊谷	一幅	絹本著色	—	—	鳥取県立博物館
150	瀧に菊慈童図	片山楊谷	一幅	絹本著色	—	—	
151	群仙図押絵貼屏風	世鶯	六曲一隻	紙本著色	—	—	
152	山水図押絵貼屏風	世鶯	二曲一双	紙本墨画	寛政八年	1796	
153	寿老人・連雀・双鶴図	世鶯	三幅	絹本著色	寛政二年	1790	
154	劉備・孔明・関羽図	世鶯	三幅	絹本著色	—	—	
155	双鯉図	楊江	一幅	絹本著色	—	—	
156	菊慈童図	楊江	一幅	絹本著色	—	—	
157	虎図	楊江	一幅	絹本著色	—	—	渡辺美術館
158	楊貴妃・風雨牡丹図	島田元旦	三幅	絹本著色	文化九年	1812	
159	花鳥四季図	島田元旦	一幅	絹本著色	—	—	
160	花鳥図	島田元旦	二幅	絹本著色	—	—	
161	花鳥図	島田元旦	一幅	絹本著色	—	—	
162	葦に白鷺図	島田元旦・林 松林	二幅	絹本著色	—	—	
163	桜花図	島田元旦	一幅	絹本著色	—	—	鳥取県立博物館
164	琴碁図	島田元旦	二幅	絹本著色	—	—	渡辺美術館
165	菊に仔犬図	島田元旦	一幅	絹本著色	—	—	鳥取県立博物館
166	仙境雅会図	島田元旦	一幅	絹本著色	文化七年	1810	鳥取県立博物館
167	秋景山水図	島田元旦	一幅	絹本著色	—	—	鳥取県立博物館
168	紫式部・清少納言図	島田元旦	二幅	絹本著色	—	—	
169	富士山図	島田元旦	一幅	絹本著色	—	—	

## ●「シーラカンス —その進化と大陸移動—」

会 期	平成22年 7月17日（土）～ 8月29日（日） 44日間（休館日なし）
入館者数	11,092人（一般5,382人、学生・高校生946人、小・中学生3,529人、幼児1,235人）
会 場	鳥取県立博物館 第1・第2特別展示室
主 催	鳥取県立博物館、財団法人福岡文化財団、(財)自治総合センター
協 力	北九州市立自然史・歴史博物館、アクアマリンふくしま、日本大学生物資源科学部、東京工業大学
協 賛	日本通運株式会社、株式会社モリックスジャパン、三和商事株式会社、株式会社吉備総合電設
後 援	朝日新聞鳥取総局、毎日新聞鳥取支局、読売新聞鳥取支局、産経新聞鳥取支局、新日本海新聞社、山陰中央新報鳥取本社鳥取総局、中国新聞鳥取支局、日本経済

新聞社鳥取支局、NHK鳥取放送局、日本海テレビジョン放送(株)、山陰放送鳥取支社、山陰中央テレビ鳥取支社、テレビ朝日鳥取支局、時事通信社鳥取支局、共同通信社鳥取支局、エフエム山陰(株)鳥取支社、日本海ケーブルネットワーク(株)

入館料 一般 700円(前売り・団体 500円)・学生以下無料

内容 「生きている化石」として有名なシーラカンスの進化に迫る展覧会。史上最大のシーラカンス復元骨格をはじめとした数百点の魚類化石をとおして、シーラカンス類の進化やその背景となる大陸移動について解説した。近年撮影に成功した現生シーラカンスの生態映像など、最先端の研究成果も紹介。また鳥取県に関連したものとして、大陸移動に関わる地質遺産である「山陰海岸ジオパーク」を紹介するコーナーも設けた。

## 展 示

第一章 大陸移動とは？：大陸移動の証拠となる実物化石〔マウソニア(シーラカンス類)、ブラジルおよびアフリカ産魚類、メソサウルス(は虫類)、グロッソプテリス(植物)、他〕

第二章 大陸移動のもう一人の証人シーラカンス：古生代・中生代の多様なシーラカンス類〔最も原始的なシーラカンス：ミグアシャイア実物化石、史上最大のシーラカンス：マウソニア・ラボカティ復元骨格(全長3.8m)、他〕

第三章 大西洋ができたころの魚たち：ブラジル産魚類化石、魚類化石の床と壁、白亜紀を代表する魚食性恐竜スピノサウルス(復元ロボット)と翼竜アンハングエラ(復元骨格)、他

第四章 シーラカンス・プロジェクト：現生シーラカンス生態映像およびCTスキャン映像、“来日第2号”シーラカンスの精密レプリカ、生きた古代魚(ハイギョ等)の水槽展示、他

体験コーナー：シーラカンスのウロコ(タッチング標本)、化石パズル、図書コーナー、「山陰海岸ジオパーク」紹介パネル、他

## 〈関連行事〉

### (1) 講演会「シーラカンスとブラジル魚類化石」

期 日 7月17日(土) 14:00~15:30

会 場 当館講堂

講 師 パウロ・ブリトー氏(リオデジャネイロ州立大学教授)

参加人数 45人

### (2) 展示解説「大陸移動とシーラカンス類の進化」

期 日 7月18日(日) 13:30~14:30

会 場 企画展会場

講 師 籾本美孝氏(北九州市立自然史・歴史博物館)

参加人数 41人

● 「海と生きる－海から見た江戸時代のとっとり－」

会 期	平成22年10月9日（土）～11月4日（日） 休館日なし
入館者数	2,681人
会 場	鳥取県立博物館 第1・2・3特別展示室
主 催	鳥取県立博物館
協 賛	日本通運株式会社、株式会社モリックスジャパン、三和商事株式会社、株式会社吉備総合電設、鳥取ビルクリーナー株式会社
協 力	船の科学館・海と船の博物館ネットワーク
入 館 料	一般 600円（前売り・団体 400円）
内 容	江戸時代を中心とした鳥取の海の歴史を紹介する展覧会。鹿野城主亀井茲矩の海外貿易や鳥取 藩の水軍組織など支配者と海との歴史、漁業・海運・海への信仰といった庶民の暮らし、朝鮮漂流民やアメリカ船に救出された鳥取藩領民、幕末の鳥取藩の海岸防備などを約200点の資料で紹介した。

〈関連行事〉

(1) 歴史講座「海と生きる－江戸時代ととりの海とその歴史－」

期 日	①10月10日（日）、②10月11日（月・祝）、③10月31日（日） 14：00～15：30
会 場	①倉吉未来中心セミナールーム、②米子市文化センター、③当館講堂
講 師	大嶋 陽一（当館学芸員）
参加人数	77人

(2) 特別講演会「中世の山陰海運と鳥取の海」

期 日	10月17日（日） 14：00～15：30
会 場	当館講堂
講 師	錦織 勤 氏（鳥取大学教授）
参加人数	50人

(3) 特別講演会「因幡・伯耆の人々の異国認識」

期 日	11月3日（水・祝） 14：00～15：30
会 場	当館講堂
講 師	池内 敏氏（名古屋大学教授）
参加人数	60人

(4) ギャラリートーク

期 日	10月23日、11月6日、11月13日（いずれも水） 11：00～12：00
会 場	展示会場
講 師	大嶋 陽一（当館学芸員）
参加人数	60人